

認定こども園

遊んで学ぶ 学んで育つ
～小さな冒険はじめよう～

帯広の森幼稚園



園長便り

令和2年度 No.5 (2020年6月11日発行)

園長：今野隆雄

『42日間の緊急事態宣言が解除され』

6月1日(月)、子どもたちの笑顔が輝き、活気漲る幼稚園、躍動感溢れる幼稚園が甦ってきました。自然界は何事もなく、春から初夏へと時は駆け巡っていますが、この時期に子どもたちしてやらなければならない様々な行事が変更・延期になり、心を痛めているところです。

今後とも今までと同様「気をひきしめコロナ対策の徹底を！」

今後とも今までと同様「気をひきしめて、感染防止策を徹底する。」ことが大切です。

『みんな力で乗り越えよう』コロナウイルス



そして「日常の保育・教育活動へ…期待の一步」

『子どもの人口39年連続減！』(1981年＝昭和56年～)

総務省が5月5日の「こどもの日」に合わせて「子どもの人口」(15歳未満)を発表しました。前年より20万人少なく1,512万人で、39年連続減少となりました。都道府県で子どもの人口が増えたのは東京都のみで、少子化の進行が改めて鮮明になりました。内訳は男子が774万人、女子が738万人、計1,512万人です。総人口に占める子どもの人口の割合は12%で、「46年」連続低下しました。

3才ごとの年齢区分では12才～14才が321万人で最も多く、年齢が低くなるほど、少なくなります。

◎年代別の子どもの人口

- 12才～14才・・・321万人
- 9才～11才・・・318万人
- 6才～8才・・・304万人
- 3才～5才・・・293万人(幼稚園・保育所年齢)
- 0才～2才・・・275万人

◎都道府県別の子どもの人口(2019年10月1日現在)

- 東京都 前年比 3,000人増 1,553,000人
- ※他に100万人を超えた都道府県は、神奈川県と大阪府だった。

◎総人口に占める子どもの割合が最も高いのは

- 沖縄県・・・16.9%
- 滋賀県・・・13.8%
- 佐賀県・・・13.5%

一方、最も低いのは

- 秋田県・・・9.8%

※都道府県別推計を始めた1970年(昭和50年)以降、全都道府県で初めて10%を下回った。

- 青森県・・・10.7%
- 北海道・・・10.8%



今週の出来事

給食おいしいよ〜♪♪



年少「ひよこ組」

モリモリ食べて みんなニッコニコ(#^^#)

「緊急事態宣言」が解除となり、6月1日（月）から幼稚園は通常に戻りました。園内では子ども達の楽しそうな声が響き渡り“やっと始まったんだなあ”と実感しています。

通常保育ががり、幼稚園では“給食”も始まりました。

今日のメニューは・・・
ふりかけごはん、どさんこじる、はんぱーぐ
きゃべつのかにかまあえ

どのクラスに行っても、子ども達は「おいしい！！おいしい！！」と口を揃えて言っていました(*^-^*)

気温も徐々に高くなってきています。美味しい給食をた〜くさん食べて、暑さに負けないパワーをつけようネ！！



年少「りす組」



年中「すずらん組」



年中「のいちご組」



年長「もり組」



年長「やま組」



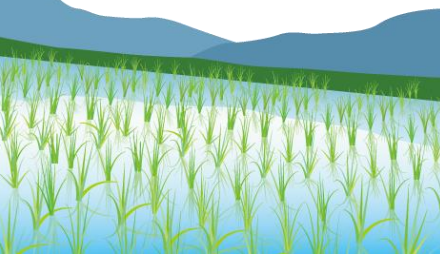
年長「そら組」

～季節の暦～二十四節気のひとつ

「芒種」(ぼうしゅ)

6月5日(金) (6月5日～6月21日頃)

芒(のぎ。稲や麦など実の外殻にある針のような毛。)のある穀類、即ち稲を植えるのに適した時期です。



「夏至」(げし)

6月21日(日) (6月21日～7月6日頃)

北半球では1年中最も昼の長い日です。梅雨真っ盛りの時期で長雨が続きます。農家にとっては田植えに忙しい時期といえます。

